



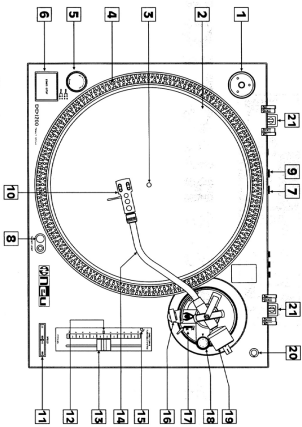
この度は、Neu DD1200 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

DD1200 は特に DJ ユースを考慮して開発された、ダイナミックターンテーブルです。

クォーツ制御による正確・安定したビッチ、トルクフルな回転、優れた再生能力を備えています。

まずこの取扱説明書をよくご覧になって、ご使用下さい。なお不明な点はご購入店までお問い合わせください。

各部の名称



- 1) トーナツ盤用アダプター
- 2) スリッパマット
- 3) センターズピンドル
- 4) ストロブ線目
- 5) パワースイッチ／ストロボ
- 6) スタート／ストップボタン
- 7) ビートアウト端子：ビッチ±0%の時 67Hz の信号が出力されます。
- 8) ターゲットライト
- 9) 外部コントロール端子
- 10) ヘッドシェル
- 11) スピード切替ボタン
- 12) ビッチインジケータ：線点灯時…ビッチ±0% 赤点灯時…ビッチを変えている時
- 13) ビッチコントロールスライダ
- 14) トーンアーム
- 15) ビッチコントロールリム：微調節が可能です。
- 16) アームレスト
- 17) キュー・レバー
- 18) フォースケータインゾつまみ
- 19) カウンターウエイト
- 20) 予備カートリッジホルダー

ご使用の前に

21) ダストカバー取り付けヒンジ

内蔵物をご確認ください。

●メインユニット●ターンテーブル●スリッパマット●ビートアウトアダプター●カウンタースクエアイト●ヘッドシェル●取扱説明書
ご注意：部品の取り付けが完了するまで電源を入れないでください。
また 100V 電源以外では使用しないでください。

部品の組み立て

■ターンテーブルの取付

①ターンテーブルをセンターズピンドルに静かに取付ます。ターンテーブルにゴミやホコリ・鉄粉が付着したり、湾曲・破損したりしないように気をつけてください。

②スリッパマットをターンテーブルに載せます。

■カートリッジの取付

①ご使用のカートリッジ説明書をよくお読みになつて取り付けてください。ご参考までに、一般的なリード線の配色は以下の通りです。

白…L チャンネル 青…L チャンネル
赤…R チャンネル 緑…R チャンネル

②カートリッジをヘッドシェルにしっかりとネジ止めします。

③ヘッドシェルをトーンアームにしっかりと取り付けます。

■カウンタースクエアイトの取付

①トーンアームの後端にカウンタースクエアイトを差し込みます。

■針圧の調整

①針先に触れないように注意して針先カバーを外します。

②アームレストのロックを解除し、キューレバーを下ろします。

③アームをフリーな状態にし、水平になるようにカウンタースクエアイトをまわしながら調節します。

④カウンタースクエアイトが動かないように気をつけて、針圧目盛りリッジを 0 の位置にあわせま (これで水平バランス調整は終了です)
⑤カウンタースクエアイトをまわして適正針圧値にあわせま (ご使用

カートリッジによって異なります)

⑥アンチスキューティングつまみを設定した針圧値と同じ目盛に合わせます。

■ダストカバーの取付

①必要に応じてダストカバーを取り付けます。

(以上で部品の取付は完了です)

設置について

・直射日光や暖房器具等の熱源からは離して設置してください。
・湿度の高い場所やホコリの多い場所はお避けてください。
・音圧やスビーカからの振動などでハウリングを起こすことがあります。外部振動を受けないしっかりと場所に設置ください。
・水平になるように設置してください。本体の足は高さを調整することができま。

接続について

■電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに差し込みます。必ず AC100V でご使用ください。また接続先の許容ワット数にもお気をつけてください (本機の消費電力は 12W です)

■PHONO 端子の接続

白色 (L) →アンプの Leftへ
赤色 (R) →アンプの Rightへ
黒色 (GND/アース) →アンプの GND/アース端子へ

アース線は必ず接続してください。アースというハムノイズの原因となります。

演奏の仕方

- 1) レコード盤をスリッパマットに乗せます。
- 2) パワースイッチをまわして電源を入れます
- 3) 回転数を合わせます。
- 4) 針カバーを外し、アームレストのロックを解除します。
- 5) スタートボタンを 1 回押します。ターンテーブルが回転し始めます。
- 6) キューレバーを起こし、トーンアームを盤上に移動し、キューレバーを下ろすと演奏が開始されます。
- 7) 演奏が終わったら、キューレバーを上げトーンアームをアームレストに戻します。
- 8) ストップボタンを押し、回転を止めてください。

針先を照らし出します。曲の頭を探する場合などにご利用ください。

■スクラッチプレイについて

本機 DD1200 はスクラッチプレイ等の激しいプレイにも対応できるように設計されております。しかし無理な力や過激なプレイは破損・故障の原因となります。十分ご注意の上、ご使用ください。

回転数の調整

ビッチコントロールスライダを使用して±10%の範囲で回転数を調節することができま。

またターンテーブル横のストロボ線目を利用して、より正確なビッチ検出が可能です。スライダをセンターにセット (緑の LED が点灯) した状態で、スライダ上部のトリムを回してビッチを正確に合わせることができま。

取扱上のご注意

■針先やレコードに付着したほこり・ゴミはよく取り除いてください。

ほこりやゴミが付着していますと、音質が劣化するだけでなく、針先やレコード盤に深刻なダメージを与える場合があります。

針先のゴミは柔らかいブラシなどで取り除いてください。またレコードクリーナーで盤面をよく拭いてください。

■音が歪む場合

よくクリエーティングしても音が歪んだりノイズがのる場合、針先の交換をしてください。

■本体のお手入れ方法

柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。
アルコール・ベンジン・シンナー等の溶剤や強力な洗剤をご使用になりますと、塗装が剥けたり変色したり、ひび割れを起こすことがあります。

定格

総合

電源…AC100V 50/60Hz

消費電力…12W

外形寸法…幅 450 ×奥行 350 ×高さ 145 mm

重量…8.6 kg

仕様・外觀等は改良のため、予告なく変更される場合があります。

※演奏を中断…演奏中にキューレバーを起こせば、演奏を中断することができま。

※トーンアップの演奏…必要に応じてアダプターをご使用ください。

※ターゲットライト…ターゲットライトを上げておくと、演奏中の



DIRECT DRIVE TURNTABLE

DD1200

Direct Drive

取扱説明書

USER'S MANUAL

IDE corp